

第 50 回アジア開発銀行（ADB）年次総会の準備状況について

1 これまでの経緯及び今後の予定

日程	内容
平成 27 年 5 月	・第 48 回年次総会（アゼルバイジャン・バクー）において第 50 回年次総会横浜開催決定
11 月	・第 50 回アジア開発銀行年次総会横浜開催推進協議会 設立総会開催
平成 28 年 5 月	・第 49 回年次総会（ドイツ・フランクフルト）への参加
6 月	・第 50 回アジア開発銀行年次総会横浜開催推進協議会 第 2 回総会開催
7 月～	・各ワーキンググループによる啓発事業や P R 等の実施 ・ A D B 総裁、専門チーム（技術班、警備班）による視察受入
平成 29 年 5 月	・第 50 回年次総会 横浜開催（4～7 日）

2 第 49 回年次総会（ドイツ・フランクフルト）での横浜 P R

(1) 開催概要

- ア 日程 平成 28 年 5 月 2 日（月）～ 5 日（木）（4 日間）
イ 会場 メッセフランクフルト コンgressセンター
ウ 参加者 3,450 人

(2) P R ブースの出展（来場者延べ約 3,860 人）

映像による横浜紹介、書道体験（120 人）、茶道体験（200 人）、和楽器演奏（395 人）



横浜 P R ブース



P R ブースでの茶道体験

(3) 次回開催国イベント（5 月 5 日、来場者約 350 人）

開催都市引き継ぎ、ロゴ・テーマ発表、横浜 P R 映像上映、和楽器演奏、和食等の提供



ロゴ・テーマ発表



AUN J クラシックオーケストラによる演奏

3 第50回年次総会ロゴ及びテーマ



ロゴ及びテーマは、本市取組のコンセプト「ともにひらく、アジアの未来」を念頭に、本市で検討・提案し、国の承認を経てADBの決定を受けました。

ロゴ

日本で昔から使われている文様を連想させるレイアウトの中に、横浜の街並みをシンプルな図形で表し、横浜らしさと日本らしさを融合。雲がつながる様は、手と手を携える様子を表し、テーマを象徴的に表現。

テーマ／本市取組のコンセプト

Building Together the Prosperity of Asia

ともにひらく、アジアの未来

ADBと日本が同じアジアの一員として積み重ねてきた50年の関係を基に、今後も協力し、アジアの未来へ新たな一歩を踏み出す決意を表現。



4 市開催推進本部における主な取組

ワーキンググループ名	主な取組
危機管理	(1) 危機管理面からの安全・円滑な総会開催支援 ・危機管理計画・各警備計画の策定 ・テロ対策訓練等の実施準備、市警戒本部立ち上げ準備
広報・報道	(1) 総会参加者や市民に向けた情報発信 ・効果的な広報計画の策定、リーフレット等の作成 ・開催都市ホームページの運営
施設管理	(1) 施設管理面からの安全・円滑な総会開催支援 ・道路や港湾施設等の会場周辺施設との調整 ・会場周辺の安全確保のための実施準備
国際協力・ビジネス交流	(1) 国際協力に関する取組 ・ADB加盟国・地域からの視察受け入れ、市内企業等からの調査団派遣 (2) 市内企業の海外ビジネス交流の促進 ・ADBと連携した経済セミナーの実施 ・市内企業の技術力をPRする展示会準備（総会会場内で開催予定） ・総会参加者に向けた本市の技術力PR映像等の作成
次世代育成・市民交流	(1) 子ども達を対象とした取組 ・小・中学校等における、青年海外協力隊派遣経験者による国際理解教育等の実施 ・日中韓都市間交流事業と連携した、高校での演奏会等の実施 ・市内大学と連携した、大学生主体のサイドイベントの実施準備 (2) 市民による国際交流の促進 ・各区と連携した市民交流の実施 ・JICA横浜との連携企画（展示、イベント等）の実施
女性の地位向上	(1) 「女性活躍」の機運を醸成するための取組 ・国際機関等で活躍する女性による対談・セミナー等の実施準備 ・ADBや加盟国・地域から女性起業家を招いたイベントの実施 ・NGO等と連携した市民啓発イベントの実施

1 第 50 回アジア開発銀行年次総会開催概要

- (1) 日程 平成 29 年 5 月 4 日（木）～ 7 日（日）
- (2) 会場 パシフィコ横浜及び周辺ホテル
- (3) 参加者 各国財務大臣、中央銀行総裁、民間金融機関関係者、NGO、
報道機関関係者など、約 3,000 名～5,000 名
- (4) 内容 各国代表による借款や開発協力などの表明、ビジネスセッション、
公式レセプション、各種セミナー・シンポジウムなどの開催

2 推進体制の概要

(1) 庁外組織

【第 50 回アジア開発銀行年次総会横浜開催推進協議会】

地元の協力体制を築き、市・県を挙げたおもてなしを行うことを目的に設立。
市内・県内の 54 団体により構成されている。

- 会 長：横浜市長
- 副 会 長：横浜市会議長、横浜商工会議所会頭、神奈川県経営者協会会長、横浜銀行協会会長
- 特別顧問：神奈川県知事、神奈川県議会議長
- 顧 問：横浜市選出国會議員有志 19 名
- 委 員：市内・県内の関係企業等の代表者

(2) 庁内組織

【第 50 回アジア開発銀行年次総会横浜市開催推進本部】

年次総会開催に向けた全庁的な取組の推進、情報共有を目的に設置。

- 統括本部長：文化観光局所管副市長（渡辺副市長）
- 本 部 長：副市長（柏崎副市長、平原副市長）
- 参 与：危機管理監
- 本 部 員：技監、区局長（行政委員会事務局長等を含む）、
温暖化対策統括本部長、会計室長

	ワーキング名	検討内容	
開催支援	① 危機管理	「横浜市警戒本部警備計画」の策定	（会議開催時を想定） 市警戒本部
	② 広報・報道	年次総会の戦略的 PR 及び関連事業	
	③ 施設管理	会場周辺の施設・環境整備等	
関連プログラム・イベント	④ 国際協力・ビジネス交流	技術協力や国際ビジネスにつながる事業	
	⑤ 次世代育成・市民交流	次世代育成・市民交流につながる事業	
	⑥ 女性の地位向上	女性の地位向上につながる事業	

【参考】アジア開発銀行（ADB: Asian Development Bank）について

- ・アジア・太平洋における経済成長及び経済協力を助長し、開発途上加盟国・地域の経済発展に貢献することを目的とした国際開発金融機関。「貧困のないアジア・太平洋地域」をビジョンとし、融資・技術協力・出資などを達成手段としている。
- ・1966 年設立。67 か国・地域が加盟。本部はマニラ（フィリピン）。
- ・上位出資国：日本（15.7%）、米国（15.6%）、中国（6.5%）インド（6.4%）、オーストラリア（5.8%）